佐世保市立大野中学校　学校だより　　校訓：至誠をもって　生涯を貫こう

大野一心

NO.３０

令和５年１０月１２日（木）　文責：校長　諸熊　修一

頑張りました！市中体駅伝競走

　昨日、今年度最後の佐世保市中学校体育大会競技である、駅伝競走が実施されました。選手激励式の際に、「箱根駅伝」に出場している、ある大学チームのスローガン「その１秒を削り出せ」ということばを紹介して、激励をしましたが、まさにその言葉通りの走りっぷりでした。スタンド側のホームストレート前で、直接走者に声をかけながら応援したのですが、「ハッハッハッ」という息遣いまで聞こえてきて、次の走者へタスキを渡すために一生懸命に走り抜けている姿に心打たれました。

　当日走った選手の皆さんのみならず、３４名の選手全員が、夏休みからの約３か月間、暑さにも負けずに朝早くから練習を行いました。一人一人に心から拍手を送ります。応援していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

【女子走者順（敬称略）】１０：３０スタート
　１区：緒方愛琉　２区：石原優衣　３区：池田小春　４区：吉永理香子　５区：石川七海
【男子走者順（敬称略）】１２：３０スタート
　１区：田中鳳将　２区：田浦怜昊　３区：波多江　陸　４区：境　蔔護　５区：長田春風
　６区：井手玲太朗

【結果】女子：　７位（タイム：４６分２６秒）　昨年度６位（タイム：４５分２６秒）
　　男子：１７位（タイム：１時間１１分３５秒）昨年度１７位（タイム：１時間１１分４５秒）

【校長のひとりごと】

　８月１日付で佐世保市教育長に陣内康昭氏が就任されました。新教育長は就任にあたって、「市内全ての小・中学校及び義務教育学校で、授業の最後は児童生徒をほめて終わってほしい」というお願いをされました。生徒をほめるためには、授業のゴールを明確にし、50 分の授業の中できちんと生徒を把握・観察をしていかなければなりません。本校においても先生方に実践をお願いしているところです。

　ところで、今回の駅伝の頑張りもそうですが、家庭や学校での頑張りをお互いに連絡することができれば、子どもたちを一層勇気づけることができます。例えば、家のお手伝いや家庭学習を頑張っていることを学校に知らせていただくと、担任は「よくがんばったね」とほめることができます。逆もまた然（しか）りです。学校でよい行いをした時に家庭へ連絡をすれば、ご家庭でもほめることができます。

　よいところをきちんと見て、頑張っていることを評価してくれる人に対して、人は信頼し、耳を傾け、言われたことを実現しようとします。子どもの「よさ」を認めほめながら、子どもたちの成長につなげていきたいものです。学校と家庭との連絡のど真ん中に「ほめる」「勇気づける」ということばを置いて、子どもたちを育（はぐく）んでいけたらサイコーですね！